

令和6年8月22日  
物流・自動車局  
安全政策課

## 貸切バス事業者の皆様 運転者研修の受講者を募集します

### ～外部研修を活用した運転者教育の効果実証～

貸切バス事業においては、軽井沢スキーバス事故のような痛ましい事故を二度と発生させないため、基本的な運転技能の確実な習得が重要ですが、小規模事業者では、運転者教育のための人材やノウハウを十分に確保できていないなどの課題があるところです。

これを踏まえ、貸切バス運転者を対象とした“外部研修を活用した運転者教育の効果実証”を行うこととしましたので、お知らせするとともに当該実証へのご協力をお願いいたします。

貸切バス事業においては、軽井沢スキーバス事故、ふじあざみライン横転事故のような痛ましい事故を二度と発生させず、死亡事故ゼロを継続的に実現するには、基本的な運転技能の確実な習得が一つの重要な要素です。

一方、自社では運転者教育をする人材等の資源やノウハウを十分に確保できていないなどの課題があるところです。

このような課題を踏まえ、今般、下記研修実施者にご協力いただき、貸切バス運転者を対象とした“外部研修を活用した運転者教育の効果実証”を実施することとしました。是非、この機会を活用いただき、その効果についてご意見をお聞かせください。

国土交通省では、本効果実証の結果を踏まえ、来年度以降の外部研修機関の活用促進策を検討する予定です。

#### 1. 研修実施者、受講人数等 別紙参照

- (1)自動車安全運転センター 安全運転中央研修所  
住所:茨城県ひたちなか市新光町 605 番地 16  
受講人数:計40名程度
- (2)ジェイアールバス関東株式会社 安全研修センター  
住所:栃木県佐野市越名町 2043-5  
受講人数:計80名程度
- (3)株式会社京成ドライビングスクール  
住所:東京都葛飾区高砂 5 丁目 54 番 10 号  
受講人数:計60名程度

2. 受講対象者、受講可能人数(応募状況等により変更の可能性もあります。)

- (1) 貸切バス事業者(乗合バス事業を営んでいる事業者を除く)に勤務する者であって、関東地方(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、山梨県)に所在する営業所において選任されている運転者。
- (2) 実施期間中の一研修実施者における一事業者当たりの受講者数は、最大2名。

3. 研修内容

- (1) 発進時の安全確認の方法(車外、車内)
- (2) 交差点右左折時の安全確認の方法
- (3) 下り坂での走行方法(エンジンプレーキ、排気ブレーキ等補助ブレーキの使用方法、安全速度)
- (4) その他基本的な運転技能の向上に資する事項

4. 実施期間

令和6年10月から令和7年2月

5. 費用負担

研修費用 負担なし(交通費、宿泊費の負担は、条件および限度額あり)

6. お申し込み方法

本事業は、SOMPOリスクマネジメント株式会社に事務を委託しています。

8月23日(金)9時00分より、ご希望の研修実施者毎に以下の申し込みアドレスからお申し込みください。

なお、先着順で予定人数に達した場合には、募集を終了させていただきます。

(1) 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

申し込みアドレス:[https://www.sompo-rc.co.jp/mlit\\_kenshu\\_jsdc](https://www.sompo-rc.co.jp/mlit_kenshu_jsdc)

(2) ジェイアールバス関東株式会社 安全研修センター

申し込みアドレス:[https://www.sompo-rc.co.jp/mlit\\_kenshu\\_jrbus](https://www.sompo-rc.co.jp/mlit_kenshu_jrbus)

(3) 株式会社京成ドライビングスクール

申し込みアドレス:[https://www.sompo-rc.co.jp/mlit\\_kenshu\\_keisei](https://www.sompo-rc.co.jp/mlit_kenshu_keisei)

お問い合わせ先

【研修受講手続き等】

SOMPOリスクマネジメント研修事務局 [srm-toiawase@sompo-rc.co.jp](mailto:srm-toiawase@sompo-rc.co.jp)

【研修全般】

物流・自動車局安全政策課 遠藤、上原 TEL:03-5253-8111(内線 41623)、03-5253-8566(直通)

- ・2024年10月から2025年2月までの間、以下の3者のご協力により実施。
- ・同じ目的の研修内容を各実施者の特色を生かした方法で実施するとともに、各実施者独自の研修内容を含めた研修カリキュラムを設定。
- ・受講費用（全額）、交通費及び宿泊費（条件、限度額あり）は、国の調査費から拠出。

## 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所 (茨城県ひたちなか市)



- ・1泊2日コース 40名程度
- ・1回15名～20名
- ・公道では試すことができない体験が可能
- ・観光バスタイプ(12m車)の研修車を使用

## ジェイアールバス関東（株） 安全研修センター (栃木県佐野市)



- ・1泊2日コース 80名程度
- ・1回2名の少人数
- ・運転行動等が測定できる機器や車両に搭載された各センサーを活用した客観的な研修
- ・観光バスタイプ(12m車)の研修車を使用

## 京成ドライビングスクール (東京都葛飾区)



- ・1泊2日コース、日帰りコース 各30名程度
- ・1回2名の少人数
- ・運転行動等が測定できる機器を活用した客観的な研修
- ・大型二種教習車(11m車)を使用